



ニュースレター No. 123

在日メキシコ大使館

2015年3月-5月



@EMBMEJAPON



EMBAJADA DE MÉXICO EN JAPÓN



ニュースレター No. 123 在日メキシコ大使館 2015 年 3月 - 5 月

1. カルロス・アルマーダ大使の着任
2. 日墨 EPA 発効 10 周年
3. トヨタのメキシコ新工場建設計画発表
4. クレヨンしんちゃん、来館
5. 文化イベント掲示板

カルロス・アルマーダ大使の到着



2015年3月25日、カルロス・フェルナンド・アルマーダ・ロペス大使は東京へ到着した。

アルマーダ大使は、公務での豊富な経験を有し、これまで連邦政府、州市町村、外国の行政府で活躍した。前職は、連邦政府 **SCT** [通信運輸省] の運輸担当次官であった。

海外では、駐ポルトガル大使を務め(1997～1999年)、在ブリュッセルの **IIAS** [International Institute of Administrative Sciences: 国際行政科学研究所] では、ラテンアメリカ出身者として初の理事となり、公選を経て理事長に就任した (1988～1991年)。

5月20日、アルマーダ大使は、天皇陛下に信任状を奉呈した。

墨日 EPA 発効 10 周年



2015 年 4 月、メキシコ日本経済連携協定(墨日 EPA)発効から 10 周年を迎えた。同協定は、400 年の歴史を有する二国間関係の深化に不可欠なツールである。

同協定の実績としては、メキシコ産農畜水産品の輸出先として日本が第二位の座を占める国となり、これまで主要な投資分野であった自動車・電子・電機分野において、両国経済間の補完性が大きな進展を遂げた。そして、二国間の貿易総額は、117 億 7400 万ドル(2004 年)から 201 億 5400 万ドル(2014 年)に増加した(71%増)。

EPA がメキシコに与えたもうひとつの効用は、日本からの投資増大である。2014 年末現在で累積値が 91 億 1300 万ドルにのぼり、その 84%が製造業部門を対象としたもので、日本はメキシコにとって世界全体では第 8 位の投資国、すなわちアジアでは第 1 位となった。さらに、進出した日本企業の数も 889 社で、対 2004 年比は 2.6 倍増である。

EPA は様々な分野における関係強化に貢献し、その一例として、1) 昨年半ばに署名された 14 件の二国間協力協定(石油、教育、検疫、農業などの分野を含む)、2) 日系企業の投資急増に伴うバヒーオ地方在住の日本人数の大幅な増加、3) 2011 年と 2014 年に開催されたメキシコ日本学長サミット、4) 日本が主賓国として招かれた 2014 年セルバンティーノ国際演劇祭が挙げられる。

トヨタのメキシコ新工場建設計画発表



4月15日にエンリケ・ペニャ・ニエト大統領同席の下で催された記者会見で、トヨタは、グアナファト州に乗用車の組み立て工場を建設し、約10億ドルの投資によって年間約20万台の生産体制構築を目指すと発表した。

この知らせは、国際ビジネスを展開する企業家各位、とりわけ日本の企業家各位がメキシコに信頼を寄せている証左である。墨日 EPA は、両国経済の各々が有するメリットの活用を可能にしており、さらに多くの要素があいまって、メキシコは、日本の自動車関連メーカーにとって格別魅力的な国となっている。すなわち、世界最大市場米国に隣接するロケーション、各種 FTA が構成する世界規模のネットワークが保証する広大な市場アクセスであり、こうした要素がメキシコの変身、完璧な生産拠点への変身をもたらしている。

トヨタの新工場建設は、メキシコの地位、世界に冠たる自動車生産拠点としての地位を確立するだけでなく、日本とメキシコの二国間における経済関係や人材交流の強化にも貢献するとともに、歳月の中で育まれたシナジーの一部となって豊かな未来を築くだろう。

クレヨンしんちゃん、来館



4月16日、日本の人気アニメキャラクターである野原しんのすけ(愛称:クレヨンしんちゃん)がメキシコ査証(ビザ)を申請するために来館し、大使以下職員の歓迎を受けた。新作の映画では、父親の転勤により春日部市からメキシコへ一家で引っ越しする。

アルマーダ大使は、人気アニメキャラクターに査証を直々に手渡した。カラフルな衣装で登場したクレヨンしんちゃんは、大使館で記念写真を撮った。

文化イベントカレンダー



6月4日-14日 ショートショートフィルムフェスティバル

東京と横浜で開催される今年の映画祭では、ガブリエラ・パラシオス監督の短編映画

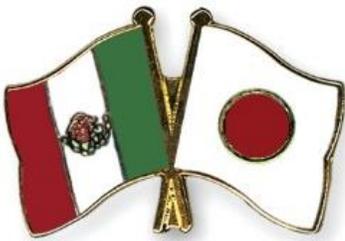
「Matabichos (邦題:害虫駆除/15分)」が上映される。同作品は第29回グアダハラ国際映画祭や第38回モントリオール世界映画祭でも上映された。

www.shortshorts.org/2015/index-en.php

6月5日 ラファエル・ゲーラ ピアノリサイタル

シナロア州出身日本在住のピアニストがアレクサンドル・スクリャービンやクロード・ドビュッシーなどの作品を演奏する。19時開演 練馬文化センター、東京都練馬区練馬 1-17-37

RSVP: Tel. 047-133-5275 Email: office@g-clef.jp



6月11日 メキシコ講演会

今年も日墨交流協会がメキシコセミナーを開催する。「進むグローバル化とメキシコの通商政策」講師: 明治大学准教授 所康弘氏。「自分の絵に見られる、メキシコの色と形」講師: アーティスト 中山玲佳氏。

18時30分 メキシコ大使館別館 5F、エスパシオ・メヒカーノ東京都千代田区永田町 2-15-1 Tel. 03-3581 - 2150 要予約: culturalembjap@sre.gob.mx



まで「MEXIKOKESHI～メキシコ×こけし＝メキシこけし～」展

メキシコの民芸と東北伝統のこけしが融合。ワークショップ「ウィチョール族のお守り作り」5/3 13時-17時 5/4 10時-14時 津軽こけし館青森県黒石市袋富山 72-1 9時-17時 Tel. 0172-54-8181

<http://tsugarukokeshi.com/>

7月5日まで ガブリエル・オロスコ in 森美術館

「シンプルなかたち展:美はどこからくるのか」に彼の作品が一点展示される。森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)、東京都港区六本木 6-10-1 Tel.03-5777-8600

www.mori.art.museum/english/contents/simple_forms/index.html



7月5日まで「竹田鎮三郎ーメキシコに架けたアートの橋」展

1968年メキシコオリンピックのために描かれた壁画「明日の神話」を共に制作した二人の偉大な日本人芸術家の接点が紹介されている。竹田氏は1978年からオアハカに在住。川崎市岡本太郎美術館、川崎市多摩区枳形 7-1-5 9時30分-17時(月曜休館) Tel. 044-900-9898

www.taromuseum.jp/english/index_english.html